

提供年月日：令和5年（2023年）8月30日  
所属名：滋賀県立美術館  
担当者名：小松（広報担当）、山田創（学芸担当）  
連絡先：077-543-2113  
E-mail：museum@pref.shiga.lg.jp

滋賀県立美術館企画展

# “みかた”の多い美術館展

さわる知る 読む聞くあそぶ はなしあう 「うーん」と悩む 自分でつくる！

2023年10月7日（土）～11月19日（日）

今井 裕雄  
鶴岡 結一朗  
岡本 高幸  
ワシリー・カンディンスキー  
神山 清子  
澤田 真一  
田代 雄一  
田中 敦子  
塔本 シスコ  
藤岡 祐惟  
前川 祐士  
松井 利夫  
百瀬 文  
山口 晃  
若林 孝典  
渡辺 泰幸  
ほか

「みかた」の多い  
美術館展

さわる知る  
読む聞くあそぶ  
はなしあう  
「うーん」と悩む  
自分でつくる！

この展覧会は、「見る」だけじゃない。

2023  
10/7 土・Sat  
↓  
11/19 日・Sun

開場時間：9:30～17:00（入場は16:30まで）  
休場日：月曜日（ただし、祝日の場合は休場しない場合があります）  
会場：滋賀県立美術館 展示室3  
料金：一般950円（税込）  
高校生600円（税込） 小中学生400円（税込）

※お支払いは現金のみ  
※18歳未満の方の入場は無料  
※本館常設展示、特別展示等同時開催中。観覧券をお持ちの方は無料  
※同時開催中の常設展示もご覧いただけます  
※本展400円～1番で保証でも観覧いただけるお席  
※年間パス（滋賀県立美術館メンバーズ）に入会者の方

主催：滋賀県立美術館  
企画：山田創 滋賀県立美術館学芸員

Museum with Many Ways to Enjoy!  
Touch, learn, read, listen,  
play, converse, ponder, create...

Shiga Museum of Art  
滋賀県立美術館

## 【見どころ】

- \*滋賀県立美術館のコレクションを中心に、「見る」だけではない、様々な方法で楽しむ展覧会
- \*普段はあまり美術館に来ない方々（小さな子ども連れ、障害のある方、県内に住む外国ルーツの方など）に提案してもらった理想の“みかた”を実現
- \*2021年に国立民族学博物館で開催され、好評を博した「ユニバーサル・ミュージアム展」の出品作をはじめ、さわることのできる作品を展示
- \*自分で手を動かして「つくる」コーナーを展示室内に展開

## 1. 本展について

この展覧会では、作品をみることや、美術館で過ごすことの可能性を広げることを、狙いとしています。

そのために、小さな子どもがいる家族や視覚に障害のある方、外国にルーツのある方など、様々な方々と一緒にアイデアを出し合いました。

話し合いの結果、さわったり、はなしあったり、写真を撮ったり、などなど、ちょっとかわった8つの“みかた”が生まれました。見るだけではない、いろいろな作品との出会いを御体験いただけます。



今井祝雄《ヴォワイヤン》1994-2010年 滋賀県立美術館蔵

## 2. 開催概要

展覧会名(正式)：企画展「“みかた”の多い美術館展

さわる知る 読む聞くあそぶ はなしあう 「うーん」と悩む 自分でつくる！」

展覧会名(略記)：「“みかた”の多い美術館展」

会 期：2023年10月7日(土)～11月19日(日)

休 館 日：毎週月曜日(ただし祝日の場合には開館し、翌日火曜日休館)

開場時間：9:30～17:00(入場は16:30まで)

会 場：滋賀県立美術館 展示室3

観 覧 料：一般950円(800円)

高校生・大学生600円(500円)

小学生・中学生400円(300円)

※お支払いは現金のみ

※( )内は20名以上の団体料金

※企画展のチケットで展示室1・2で同時開催している常設展も無料で観覧可

※未就学児は無料

※身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳をお持ちの方は無料

主 催：滋賀県立美術館

出品作家：今井祝雄、鵜飼結一郎、岡本高幸、ワシリー・カンディンスキー、神山清子、澤田真一、田代雄一、田中敦子、塔本シスコ、藤岡祐機、前川紘士、松井利夫、百瀬文、山口晃、若林孝典、渡辺泰幸 ほか

協力者(施設)：本展では、様々な“みかた”を考えるため、以下の滋賀県内に在住の親子や、障害者福祉施設などの協力を得ています。

遠藤さん親子、救護施設ひのたに園利用者、しが盲ろう者友の会会員、

重症心身障害者通所施設えがお利用者、サンタナ学園生

特定非営利法人 BRAH=art. 利用者

### 3. いろいろな“みかた”

本展では、「見る」以外の方法で美術館を楽しむための、様々な“みかた”を御体験いただけます。

#### ○さわったり、聞いたりして、みる

2021年に大阪の国立民族学博物館で開催され、好評を博した「ユニバーサル・ミュージアム展」の出品作を中心に、一部の作品は、手でさわったり、音を楽しんだり。ときには作品の上ののっかって、全身で鑑賞することができます。



岡本高幸《とろける身体—古墳をひっくり返す》2021年 撮影：岡本高幸

さわったり聞いたりできる作品の出品者：

岡本高幸、神山清子、澤田真一、田代雄一、  
藤岡祐機、前川紘士、渡辺泰幸、若林孝典（協力：わらべ館）

#### ○おはなしして、みる

作品のとなり、「おはなし」が進むキーワード「おはなしのたね」を掲示します。友だちで、親子で、おはなししながらみると、作品をもっと楽しめるかもしれません。



山口晃《厩圖 2004》2004年 滋賀県立美術館蔵

おはなししてみることができる作品の出品者：

今井祝雄、鵜飼 結一朗、ジョセフ・コーネル、山口晃

#### ○いっそ自分でつくって、みる

自分の手をうごかして、絵をかいたり、切ったり、貼り付けたり、思いのままにつくることができるスペースがあります。付近のガラスケース内には、作品が展示されているので、その作品を鑑賞しながら、自分もつくることができる貴重な体験を提供します。



藤岡祐機《無題》2006年頃 滋賀県立美術館蔵

つくることができるコーナーで展示している作品の出品者：

出品者：杉田静山、塔本シスコ、星野暁、藤岡祐機

そのほかにも、車椅子利用者の目線の高さに合わせた作品展示や、視覚と聴覚に同時に障害がある「盲ろう者」と協働したエリア、作品について思い思いのコメントを添えることができる仕組みなどを用意しています。

## 4. この展覧会を一緒につくった方々

本展は、障害のある方や、滋賀県に住むブラジル人の方、小さな子どもがいる家族など、様々な方々と一緒にアイデアを出しながらつくりました。

その方たちの多くは、障害など様々な理由で、美術館に来ることがあまりなかった方々です。

本展の制作にあたっては、まず皆さんに美術館に来てもらうところからはじめ、「どのような“みかた”があれば、美術館を楽しく過ごせますか？」ということについて、意見交換をすることで展覧会をつくりました。

“みかた”を一緒に考えてくれた方々

遠藤さん親子、救護施設ひのたに園利用者、しが盲ろう者友の会会員、

重症心身障害者通所施設えがお利用者、サンタナ学園生

特定非営利法人 BRAH=art. 利用者



「子どもと一緒に楽しむには・・・？」  
遠藤さん親子と話し合い。



重症心身障害者通所施設えがおと  
作品展示の高さについて話し合い。



作品と一緒に写真を撮るアイデアについて、  
サンタナ学園の生徒たちと話し合い。

## 5. 小さなお子さんがいる、障害があるなど、様々な理由で来館を迷っている方へ

当館では、しーんと静かにする必要はなく、おしゃべりしながら、御観覧いただけます。さらにこの展覧会では、「やさしい言葉や点訳にした解説文」、「さわったり、つくったりするコーナー」を用意し、身体や心の違いに関わらず、多くの方々に楽しんでいただけるよう取り組みます。

また、御来館にあたっての不安をあらかじめお伝えいただいた際には、事前の情報提供や当日のサポートの御希望に、可能な範囲で対応するよう取り組みます。

## 6. 関連イベント

### ◆ワークショップと講演会「さわるを楽しむ&学ぶ」 [要事前申込/抽選]

触覚を深める体験と講義。触覚を起点に、これからのミュージアムのあり方を考える「ユニバーサル・ミュージアム研究会」との共同企画。

日程：10月8日（日）

会場：滋賀県立美術館 木のホール

#### 1. ワークショップ「手ざわりで味わう絵本と文化財」

講師：吉田沙矢香（滋賀県立図書館）

鈴木康二（公益財団法人滋賀県文化財保護協会）

時間：14：30～15：30

定員：20名

#### 2. 講演会「この子らから世に光を—『ユニバーサル・ミュージアム』という思想」

講師：広瀬浩二郎（国立民族学博物館 人類基礎理論研究部 教授）

時間：15：30～16：30

定員：40名

※本イベントには、定員とは別に、ユニバーサル・ミュージアム研究会員も参加します。

### ◆たいけんびじゅつかん [要事前申込/抽選]

小・中学生とその保護者対象の、展覧会鑑賞&創作体験。

日程：10月22日（日）

時間：13：00～15：30

定員：15名

### ◆（ほぼ）毎週末ギャラリートーク [事前申込不要/当日先着]

当展覧会の担当学芸員が展示室を御案内。

日程：10月15日（日）、10月28日（土）、11月12日（日）、11月18日（土）

時間：14：00～15：00

定員：各回20名

## 7. 同時期に開催する当館の展覧会

### ◆常設展「さわる SMOA コレクション」展（企画展「“みかた”の多い美術館展」関連企画）

当館のコレクション作品を、さわることのできる「触図」にしたものと一緒に展示します。名品を、手ざわりでもお楽しみください。

会期：10月7日（土）～12月20日（水）（11月20日（月）～11月22日（水）は休室）

会場：展示室2

### ◆常設展 小倉遊亀コーナー「静物画、そして下絵」

会期：10月7日（土）～12月20日（水）（11月20日（月）～11月22日（水）は休室）

会場：展示室1

#### ◆滋賀県立琵琶湖文化館地域連携企画展・滋賀県立美術館常設展「千年の秘仏と近江の情景」

琵琶湖文化館がお預かりしている貴重な文化財の中から、湖南市の名刹正福寺の仏像を中心として、豊かな文化を育ててきた滋賀の情景をあらわした作品を滋賀県立美術館のコレクションとともに展示します。

特に正福寺の本尊大日如来坐像（重要文化財）は国内最古級の胎藏界大日如来像で、嚴重な秘仏のためその公開は33年ぶり、寺外では初の公開となります。そして、この度は正福寺大日如来像と非常に近い関係にあると考えられる湖南市善水寺の不動明王坐像（重要文化財）を特別出展します。本展ではこの二像を中心に湖南地域の歴史の奥深さを追求します。

会期：2023年10月7日（土）～11月19日（日）

会場：展示室1

### 8. 次回開催予定の展覧会（企画展）

日本のアール・ブリュット展（仮）

会期：2024年4月～6月（予定）

※2023年12月21日（木）～2024年4月中旬まで休館予定

### 9. プレス内覧会（滋賀県立琵琶湖文化館地域連携企画展・滋賀県立美術館常設展「千年の秘仏と近江の情景」と同時開催）

(1)開催日時

2023年10月6日（金） 10：30～受付開始

(2)会場

滋賀県立美術館（大津市瀬田南大萱町1740-1）

(3)タイムスケジュール

10：30～11：00 プレス受付

11：00～12：00 説明会（木のホール）

- ・保坂ディレクターによる御挨拶
- ・展覧会内容紹介（担当学芸員）
- ・質疑応答

12：00～13：00 展覧会場内覧（展示室1、2、3）

(4)参加申込み

参加を希望される方は、別添「プレス内覧会参加返信表」に必要事項を御記入の上、2023年10月5日（木）までに、FAXまたはメールにてお知らせくださいますようお願いいたします。お車でお越しの場合は、びわこ文化公園の駐車場（無料）を御利用ください。（機材の持ち込みなど美術館前まで車の乗り入れが必要な場合は、その旨を記載してください。）

(5)注意事項

天災地変等の突発的な事情により、プレス内覧会の内容を変更させていただく場合や開催を中止する場合があります。なお、開催中止の場合は、参加申込みの際にいただいた御連絡先にお知らせいたします。

# プレス内覧会参加返信表

申込期限:10/5 (木)

## 滋賀県立美術館行き

Fax : 077-543-2170

Email : museum@pref.shiga.lg.jp

### <必要事項>

1) 貴社名 :

2) 御芳名 :

※参加される方すべての御芳名を記入してください。

3) 参加人数 :

4) TEL :

5) E-mail :

6) 通信欄 :

広報用画像申込書

滋賀県立美術館 学芸課行き

Fax:077-543-2170 E-mail:info@shigamuseum.jp

展覧会広報用素材として、作品画像を用意しています。御希望の方は使用条件をお読みいただき、必要事項を御記入のうえ、FAXまたはメールにてお申し込みください。なお、読者プレゼント用の招待券の提供を御希望の場合は、本申込書の記載欄に併せて御記入ください。

\*\*\*\*\*

媒体名:

種別:テレビ ラジオ 新聞 雑誌 フリーペーパー ネット媒体 その他

発売・放送予定日:

御社名:

御担当者名:

E-mail:

T E L:

招待券希望枚数: 枚(送付先住所: )

御希望の画像に✓をつけてください。

<input type="checkbox"/>	① 「“みかた”の多い美術館展」チラシ
<input type="checkbox"/>	② 今井祝雄《ヴォワイヤン》1994-2010年 滋賀県立美術館蔵 ©Imai Norio
<input type="checkbox"/>	③ 岡本高幸《とろける身体ー古墳をひっくり返す》2021年 撮影:岡本高幸
<input type="checkbox"/>	④ 山口晃《厩圖2004》2004年 滋賀県立美術館蔵 ©YAMAGUCHI Akira, Courtesy of Mizuma Art Gallery
<input type="checkbox"/>	⑤ 藤岡祐機《無題》2006年頃 滋賀県立美術館蔵

\*\*\*\*\*

[使用条件]

※広報用画像を御使用の際は、各画像のクレジットを明記してください。

※広報用画像はすべて全図で使用してください。トリミング、縦横比の変更、文字や他のイメージを重ねるなどは御遠慮ください。

※展覧会基本情報と広報用画像の使用方法の確認のため、お手数ですが、校正原稿を当館へお送りくださいますようお願いいたします。

(記事内容や報道原稿を確認する意図ではございませんので、念のため申し添えます。)

※アーカイブのため、後日、掲載誌(紙)、URL、番組収録のDVD、CDなどをお送りください。

※広報用画像は本展の広報・報道のみの御利用となります。御利用後は必ずデータを破棄していただくようお願いいたします。